

推薦願い

来る平成三十年一月に行われます

久留米市長選挙に際し

貴団体の御推薦を戴きたく、

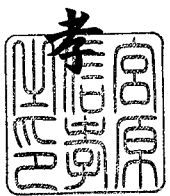
どうぞ格別のご配慮をもちまして

お取りはからいくださいますよう

よろしくお願い申し上げます。

平成二十九年十二月吉日

宮原 信



推薦決定通知書

宮原 信孝殿

平成30年1月に行われる久留米市長選挙
(選挙区:久留米市)において、当団体はあなたを
推薦することを決定いたしましたので、ここに
通知いたします。

平成29年12月15日

団体名 小郡三井医師連盟

所在地 小郡市上岩田1246

代表者 委員長 白石恒明



久留米一新 みやはら信孝

故 古賀正浩先生に政治家にならないかと声をかけられたのが始まりだった。

2005年9月 衆議院議員選挙
九州比例区自民党公認候補

2014年1月 久留米市長選出馬

ご挨拶 みやはらのぶたか
こんにちは。宮原信孝です。

1. 生粋の久留米っ子

昭和33(1958)年7月に東京で生まれ、1歳の誕生日から久留米市津福本町で育ちました。私の父は、明善高校・九州大学を卒業して月星化成に入社し東京支社に勤務していましたが、転勤で久留米本社に戻ったからです。私は、荘島幼稚園、鳥飼小学校、久留米大学附設中学・高校を卒業しました。

東京大学教養学部人文地理分科を卒業し、外務省に入省しました。外務省職員として22年間勤務しました。そのうち12年半は、アラブ首長国連邦、オランダ、ベトナム、アフガニスタンなど7カ国の海外勤務でした。外務本省では中東、軍備管理軍縮、領事移住などの問題を担当しました。

9.11 米国同時多発テロ攻撃が起こった時、中東第2課長を務めていました。米国の攻撃対象となったアフガニスタンの担当課長です。新しい対アフガニスタン政策に没頭していました。そんな時、当時福岡6区選出の衆議院議員、古賀正浩先生が政治家にならないか、と声をかけて下さいました。その時は、外務省に入って最も重要な責務を担っていましたのでお断りしたのですが、正浩先生は、私に「外交は大事だ。しかし、今すぐでなくてもいいから、日本全体のことを考えてみないか」とおっしゃいました。

その後、私は、アフガニスタン復興支援総理特別代表になられた緒方貞子氏の指揮下、中東第2課長、或は在アフガニスタン日本大使館次席公使として同国復興支援の現場指揮を行いました。そんな中、同国地方の村々を歩き、長老たちの必死の訴えを聞いているうちに、「今、自分の故郷・久留米を含む日本の地方は衰えてきている。故郷の為に知恵を絞り汗をかくべきだ!」という思いが強くなっていきました。正浩先生のお言葉がずっと頭の片隅にあり、日本のことを考えているうちに、アフガニスタンの長老たちの真剣なまなざしと結びついたのでした。

地方を強くする。これが、私が久留米に帰ってきた理由です。久留米市の皆さんと力を合わせ、久留米の未来を創っていきたいと思います。

2. 地域政策と教育のプロ

大学では、地域論、開発途上国論を学びました。この学びは、外務省の研修先の一つロンドン大学東洋アフリカ学院でも、中東地域研究という形で続けました。これは、パレスチナ自治支援、ベトナム開発協力、アフガニスタン和平復興支援で生かされました。住民及び民間企業・団体の方々と一体となってパレスチナ自治政府づくり、支援へ向けての民間企業・団体との協力体制づくり、包括的地域づくりなどを実践してきました。この結果、私自身の力を伸ばし、多くの民間の方々との人脈を広げることになりました。

久留米に帰ってきてからは久留米大学文学部に奉職し若者を育てるとともに、地域のまちづくり活動に取り組んできました。若者は、刺激を与えるとどんどん伸びていきます。また、あらゆる形で地域のコミュニティを構築していくことが地域社会を強くしていくことです。

そうした私の専門性を活かして久留米を一新していきます。

3. 久留米を内外から知る

久留米を国内外、外から見ること、全国広しといえども、久留米ほど理想的な田園都市はないこと、海外から見ても魅力的なまちであることを確信しました。広い平野、農商工すべての分野における実績、美味しい水と美しい緑、更には、古代から続き、かつ時代とともに形成されてきた、様々な文化。これらは世界一級品です。

久留米に戻って内側から見ると、久留米を活性化させようと活動されている方が大勢いること、交通の便が極めていいことなど潜在力の高いまちであることを確信しました。すべては人が創るのです。この久留米を何とかしようとしている方々が年齢にかかわらずいらっしゃるということは、大きな宝です。その上で、アジアという巨大市場と結ぶ海空の交通拠点と1時間以内に結ばれています。この利点は活かさなければ損です。

私は、自分の人脈を活かし、地域の人財と協力して、この潜在力を最大限に引き出すまちづくりを実践します。

略 歴 書（平成 29 年 9 月 1 日現在）

氏 名	宮 原 信 孝（みやはら のぶたか）
生 年 月 日	昭和 33 年 7 月 20 日
経 歴	
昭和 52 年 3 月	久留米大学附設高等学校卒業
昭和 58 年 3 月	東京大学教養学部教養学科卒業
昭和 58 年 4 月	外務省入省 研修所（～7 月）、中近東第 2 課
昭和 59 年 7 月	在シリア日本大使館 外交官補（アラビア語研修）
昭和 61 年 7 月	在英国日本大使館 外交官補（ロンドン大学東洋アフリカ学院（SOAS）中東地域研究：62 年 12 月修士号取得）
昭和 62 年 6 月	在アラブ首長国連邦二等書記官（政務担当：イラン・イラク紛争時の航行安全）
平成元年 7 月	領事移住部領事移住政策課総務班長（2 年 7 月より課長補佐） （平成 2 年 8 月よりの湾岸危機・戦争時、邦人の人質・退避担当）
平成 3 年 4 月	中東アフリカ局中近東第 1 課総務班長・課長補佐（掃海艇のペルシャ湾派遣・中東和平・パレスチナ支援を担当）
平成 5 年 3 月	同課首席事務官に昇任
平成 6 年 8 月	軍備管理科学審議官組織軍備管理軍縮課首席事務官（NPT 延長問題、究極的核廃絶国連決議、化学兵器禁止条約批准、生物兵器禁止条約実施法政令の制定などを行う）
平成 8 年 1 月	在オランダ日本大使館一等書記官（政務班長：オランダ人戦争被害者の問題、アジア女性基金覚書締結を担当）
平成 10 年 7 月	在ベトナム日本大使館参事官（総務班長兼経済班長：日本の対ベトナム援助総括・付加価値税導入による ODA 凍結問題を解決）
平成 12 年 7 月	生物化学兵器禁止条約室長
平成 13 年 5 月	中東第 2 課長（9.11 後の対アフガニスタン政策を立案・実施）
平成 14 年 9 月	在アフガニスタン日本大使館次席公使（和平復興支援総括）
平成 16 年 8 月	在ニューヨーク日本総領事館領事（コロンビア大学客員研究員）
平成 17 年 11 月	久留米大学文学部助教授
平成 18 年 4 月	日本国際問題研究所客員研究員（平成 21 年 3 月まで）
平成 19 年 10 月	同教授
平成 21 年 4 月	東京財団研究員（平成 29 年 3 月まで）
平成 23 年 4 月	久留米大学国際交流センター所長（平成 25 年 3 月まで）
平成 29 年 8 月	久留米大学文学部教授辞任・退職



久留米一新 みやはら信孝 後援会会報

No.013
2017年12月1日発行

みやはら信孝の 3大強みを紹介!

1 地域政策と教育のプロ

大学では地域論、開発途上国論を学び、外務省ではパレスチナ自治支援、ベトナム開発協力、アフガニスタン平和復興支援など住民と一体となって自治政府づくり、地域づくりを実践してきました。

久留米に戻ってからは久留米大学文学部に奉職し若者を育てるとともに、地域のまちづくり活動に取り組んできました。

そうした私の専門性を活かして久留米を一新していきます!

2 久留米を内外から知る

久留米を外側から見ることで、全国広しと言えども、久留米ほど理想的な田園都市はないこと、海外から見ても魅力的なまちであることを実感しました。

久留米に戻って内側から見ると、久留米を活性化させようと活動されている方が大勢いること、交通の便が極めていいことなど潜在力の高いまちであることを確信しました。

この潜在力を最大限に引き出すまちづくりを実践します!

3 生粋の久留米っ子

昭和33(1958)年7月生。

久留米市津福本町で育ち、荘島幼稚園、鳥飼小学校、久留米大学附設中学・高校を卒業しました。

東京大学教養学部人文地理分科を卒業し、外務省職員として22年間勤務した後、自分の故郷のために知恵を絞り汗をかくべきだ!という思いで久留米に戻ってまいりました。

皆さん、一緒に久留米の未来を創りましょう!

市民のみなさんと力を合わせ、私たちの久留米を創ります!

2017年~2018年 みやはら信孝後援会 今後の日程

【久留米一新大集会】	【くるめの輪 女性と若者大集会】 (ぶどうの会)	【新春久留米一新大集会】
2017年12月10日(日)	2018年1月9日(火)	2018年1月13日(土)
受付: 14:30	時間: 10:00~	時間: 午後
時間: 15:00~	会費: 入場無料	出演: 渡部恒雄氏、
会場: 久留米リサーチパーク	出演: Sing J Roy with チクゴス ckgz 他	宮本雄二氏、他 来演予定
	場所: 久留米シティプラザ六角堂広場	
福岡県久留米市百年公園1-1	福岡県久留米市六ツ門町8-1	詳細は続報で!
お問合せ: 0942-34-5600	お問合せ: 0942-34-5600	お問合せ: 0942-34-5600

久留米を一新する みやはら信孝の実行プラン

一新!



実行プラン
その1

しがらみ政治を一新!



市民中心の政治に変える!

- 市民のための市役所に大改革
- 情報を公開するのは当たり前、積極果敢に情報発信・共有
- 財政の選択と集中で税金の使い方を見直し家計負担も軽減する

市民主導の政治に変える!

- 校区、地域への大幅な権限委譲
- 予算の使い方は市民と決める
- 市民の手で運営する地域ファンドを設立し、市民活動を応援
- 市有施設の民間運営を強力支援

全員参加の政治に変える!

- 市民の意見や知恵を政治に取り入れる仕組みを作る
- 市民の声を聴くために校区ごとのタウンミーティングを強化
- 久留米市初の女性副市長を実現

実行プラン
その2

全世代が住みやすいまちに一新!



地域で子育てするまちへ!

- 子育て経験者を登用した地域コミュニティ、学童保育の向上
- 民間の病児保育施設を財政支援
- 全校区に母親悩み相談所開設
- 子育て支援予算を倍増

日本一の若者が育つまちへ!

- 大学・民間との連携強化で学力テスト福岡県1位を狙う
- ふるさと納税収入で無償奨学金、無料学習塾を支援
- 文化と芸能の町として全国にアピール、文化活動/教育を拡充

お年寄りが元気なまちへ!

- 医療・介護の連携で健康づくり
- 歯と体の予防検診を支援
- 健康維持活動の場作りの推進
- 地域交通・移動販売車を充実させて、買い物難民を無くす

実行プラン
その3

稼げるまちに一新!



見る観光からする観光へ!

- スポーツ・文化施設や田園地域開発で国内外の修学旅行生誘致
- ウォーキングやサイクリング観光ルートの整備
- 海外に健康診断観光を売り込み観光収入を大增額

農業起点で産業拡充!

- 農産物の海外輸出額10倍増へのチャレンジ
- 土地利用指定の変更、農業特区の制定でもっと農業をしやすく
- 農業の技術と経営が学べる農学部を作り、後継者を育成する

仕事を作り雇用を増やす!

- あじさかインターチェンジ開業に合わせ、流通産業誘致と増進
- 地域と中心市街地の再開発でリノベーション活用をサポート
- 久留米の名物イベントを作り出しまちの賑わいを取り戻す